

シルバ－ 江田島



第 14 号

平成11年7月1日

＜発 行＞

㈱江田島町シルバ－
人 材 セ ン タ ー

江田島町中央1-15-15
江田島町シルバ－ワークプラザ
TEL (0823)42-5211
FAX 42-5051



木工技術講習会

木工技術講習会に

参加して

今年初めの一月と二月に計三回、木工技術の講習会がワークプラザで行われました。講師は広島能力開発促進センター訓練課の指導員、空田尚久氏でした。

私は現役時代は木工の方ではなく、造船所で鉄板のガス切断加工を本職として約三十年やっていました。全く畑違いの仕事でありましたが、ガラスを使った砲台の直し方、刃の砥ぎ方等、いろいろと参考になる事を多く教わりました。特に、竹や木は、いったん削って失敗すると手直しが出来ませんが、鉄板の方であれば、肉盛（溶接）で何とか元通りのようになります。木工は非常にやっかいなような気がしました。しかし、ゴミ入れ枠を作ったのですが、完成した時は、我ながらよく出来たと思ひ、満足でした。これも、木工の基礎的な教育を受けた賜物と感謝しています。日曜大工くらいにはもってこいの講習であつたように思います。最後に、木工旋盤の講習がありました。空田さんは、あまり木工旋盤を使つたことがないようで、自分達でいろいろ使つてみて、研究してくださいとのことでした。

山本一

平成十一年度 五月期通常総会もたれる

(株)江田島町シルバー人材センターの平成十一年度五月期通常総会は、五月二十八日(金)午後一時から江田島町役場三階大会議室で開催されました。

風呂井事務局長の司会で始まり、当日会員数二三〇名の内、出席者六二名、委任状九五名、計一五七名の過半数で通常総会が成立し会議が進行されました。

山佐理事長のあいさつのち平木重己町長、広島県商工労働部長代理・角浩之県職業安定課主任からそれぞれ祝辞をいただきました。

広島県シ連からの祝電披露の後、議長選出に入り、議長に角川伍助氏が選出され、議事録署名人に鍵本伍氏、西村明治氏が選任されました。

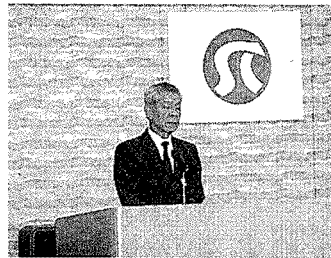
議事に入り、第一号議案の平成十年度事業報告、第二号議案収支決算書及び付属書の承認について一括上提され、事務局長から詳細に報告。

監査報告を下野監事から説明されたのち、各議案ごとに審議し、満場一致で原案どおり承認されました。

第三号議案の理事及び監事の選任については、選考委員会推薦の候補者どおり選任し、その後十分間の休憩をとり、新理事による最初の理事会を別室で開催して、理事長に山佐一男氏、副理事長に板垣宝潤氏、常務理事に風呂井侃氏を再選して総会

を再開、理事会の結果を報告すると同時に新任理事を紹介し午後二時四十三分に閉会しました。

総会終了後、前広島県シルバー人材センター連合会事務局長、北森郁男氏による講演(演題、「人生八十年時代」)におけるシルバーセンター



事業の積極的な展開について)がありました。高齢化の進む現代社会にあって、高齢者が晴耕雨読から生涯現役、生涯学

平成十年度班長研修を終えて

平成十一年二月八日午前七時二十分に江田島町を離れ、目的地の岡山

県真備町役場庁舎に十一時頃に到着。庁舎前には六世紀に右大臣を勤めた真備出身の吉備真備公の銅像がある。

早着いたので、真備町シルバー人材センターの好意で、昼食までの時間、近くの箭田大古墳を案内してもらう。六世紀に造られたもので、あの巨石はどのようにして運び、据えつけられたのかと想像をめぐらす。この古墳(周囲二キロ)と近くの竹林の管

習による生きがいを見つけること、そのためには、活力ある高齢化をめざしたシルバー人材センターの活動が必要であると講演され、全ての予定行事を終え散会しました。

新理事及び監事の紹介

理事長	山佐 一男(中央)
副理事長	板垣 宝潤(津久茂)
常務理事	風呂井 侃(秋月)
理事	森下光太郎(切串)
理事	岡本 光子(江南)
理事	土手 二正(切串)
理事	山佐 勇(中央)
理事	村井 義郎(鷺部)
理事	山本 数美(秋月)
理事	森 修一(秋月)
理事	新本 清一(小用)
監事	小松 貢(秋月)
監事	下野 一彦(切串)

理をシルバー人材センターが行っているとのことでした。

十三時から社会福祉棟の三階研修室で相手方の紹介、次いで真備町センターの事業の説明を聞きました。

・会員数 二六三名

男子 一六一名
女子 一〇二名

・事業実績

六三、六一五、七七七円

・受注件数 九八四件

つづいて作業班長から作業の手順



の説明を受けました。そして質疑。草刈機を使う作業の方法の相違が大きく、意見を含めてやりとりが行われました。作業中に小石等が飛び散り、周囲の物をこわすおそれがあるので防護ネットを使用していることを説明しても完全に理解してもらえませんでした。作業環境の違いだと思いましたが、また、当方の班長さんが真備町のシルバーの草刈機が少な

いのに感心していました。また、町の環境施設ゴミ袋の配布をシルバーが行っているとのこと、当方もこの事業を町当局に働きかける必要があると思いました。

二日目は、倉敷市の美観地区に指定されている歴史的町並を見て回りました。特に日本郷土玩具館は熱心に見ました。館内には竹細工、組木等、当方で参考になる作品が数多く展示されていました。この時感じたのは、これら先進地の作品を精力的に見て、私達の作品に反影しなければということでした。

— 小松 —

竹炭づくり講習会に参加して

「竹炭に脚光」、竹酢製品化へ意欲、これは最近の新聞の見出しです。

近頃は竹炭が注目されているので、胸をはずませて山佐勇理事ほか七名は県連合主催の竹炭等生産講習参加のため千代田町SCに行きました。

三月十五日午前七時シルバークラブ前に集合、フェリー、高速道路を経て午前九時三十分千代田SCに到着しました。

大本理事長さん、脊戸事務局長さん等に迎えられ、早速二階の会議室で担当の方から竹炭について説明を受けました。

竹炭は備長炭と同様高級炭、火力が強い、水の浄化作用……

竹炭を作る時にでる「竹酢」は水虫によく効く、竹炭の販売はイベント、青空市場等で三〇〇円、五〇〇円、八〇〇円で行っているとのことでした。

次は別の作業所で三班に分かれそれぞれ「わら縄」「むしろ」「竹ぼうき」の講習を受けました。

「わら縄」では製縄機で足踏の回転とわらのそう入が一致せず大きくなったり切れたり、「むしろ」では機織を立てた状態で左右の両端を合わすのがむずかしい。「竹ぼうき」は長い枝と小枝を重ねて針金で止めるのに一苦労。

いろいろと良い体験をしました。



の窯がありました。

二人の担当の方から説明を受け部分ごとに実演をしました。素材は青い孟宗竹がよい。竹の長さは35cm×10cm、一束の太さは10cmでドラム缶にすき間のないように詰め込む。火入れは消火時刻を考えて行う。一番大切なことは煙の色を見ることが

午後はいよいよ竹炭づくりの講習です。人里離れた田の空地に炭焼小屋があり、その前に青い孟宗竹が積み、近くにはドラム缶を切断した教材用

<参考例>

2/22	火入れ	14:20
	口しぼり	16:50
2/23	消火	05:00
	取り出し	

です。親切、丁寧に説明していただきました。帰る途中で、竹炭を江田島に取り入れたら、場所が誰がやるか、販路は等いろいろと話し合いました。よい講習でした。県連合、千代田町SCの皆さんにはほんとうにお世話になりました。

(追記)

受講された秋月の柴本政幸さんは帰って早速自分で窯を作り、竹炭、竹酢の製作に取りかかれました。三、四回失敗の後、立派な竹炭、竹酢ができたので、五月二十三日の鷺部公民館まつりで即売したところ、とても好評でしたのでお知らせします。

ー山佐生ー

江田島町公民館まつり等に参加して

江田島町コミュニティセンター

三月七日(日)、相憎の曇り空のもと、

小用区の祭太鼓のおはやしの中、午前十時から平木町長、中野区長の挨拶があつて開館。入口ロビーに陣どつたシルバークラブ芸展は、入館者が第一に目につく場所、赤や青の幟を立て、揃いの法被を着た会員が啓発用のチラシ、ティッシュペーパーを配ってPRにつとめている姿は、ひ

ときわ目立ち、雰囲気盛りあげていました。

展示品は、あとの二会場とも竹細工、手工芸品、木工品、組木等、会員の製作によるもので、午後四時の終了までに一〇五品の売り上げがありました。

中央公民館

三月二十一日(日)午前十時から始ま



三会場での売上合計額は二八二点、一三万七千八百五十円でした。

鷺部公民館

五月二十三日は晴天に恵まれ、公民館と図書館との通路に工芸品を展示、竹酢、竹炭が好評でした。人気の集まった工芸品はまねき猫、組木(一〇〇円セット)、猫のキーホルダー。三会場での売上合計額は二八二点、一三万七千八百五十円でした。

ー新本ー



レンガの寸法が違うので
素人にはやねこい

十二月十四日、秋月の平本さん宅のガーデニングの作業現場を訪ねました。平本さん宅は県道に面した南向きの見はらしのよい所にありました。

作業は庭に煉瓦を敷きつめること。「シルバーは何をやらされるかわからん」そう言いながら、金槌でレンガを削り、セメントを敷いて、その上に煉瓦を並べ、槌の柄で叩いて高さを揃え固定します。

「庭が海に向かって低くなっているんで、海側の方を少し高くしてできるだけ平らにするが、水の流れを考え海側を少し下げなけりゃあ……」レンガとレンガのすきまは約一センチ、そこにセメントを流して固定します。

「煉瓦の寸法が違うので素人にはやねこい。タイルをはるようにはいかん」

作業は一人がセメントを練り、一人が煉瓦を並べます。煉瓦の並びを

揃える板には目盛りがしてありますが、煉瓦の大きさが違うので「ズツてくる」と言いながら煉瓦の並びを出来るだけ揃えて並べます。本当にいい作業です。煉瓦を置いて「これは広い、六ミリも違う、全体を見たらではわからんが、一つずつ見ると違う」

安全委員会の

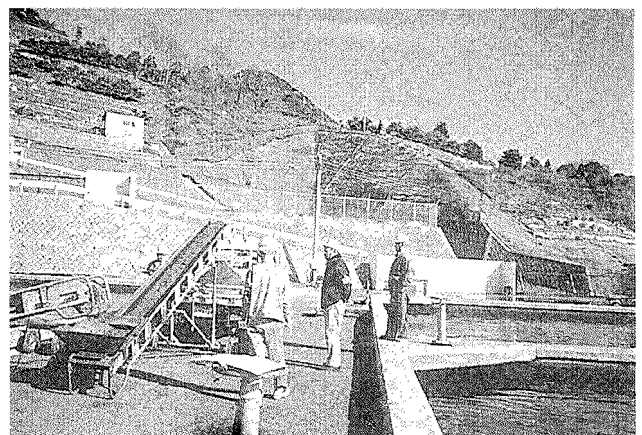
「巡回」に同行して

二月二十五日、安全委員会の「巡回」に同行しました。委員は新久、山佐(勇)、角川さんの三人でした。最初に訪ねたのは小用の浄水場。作業は浄水槽の砂にヘドロがたまっているの、その砂を取り出し、きれいに洗ってもとにもどすというもの。この作業は浄水槽を順を追ってやるということ。

「作業は早くということ、九人来ています。作業開始は八時です」

「浄水槽に入るの、長靴を消毒してから入ります。その確認が大切」と委員さん

支える仲間



が話してくれます。聞けば消毒液は会員さんがつくっていたとのこと。そこで早速、管理事務所の方に、消毒液は管理事務所の方で用意しておいてくださいと要望。

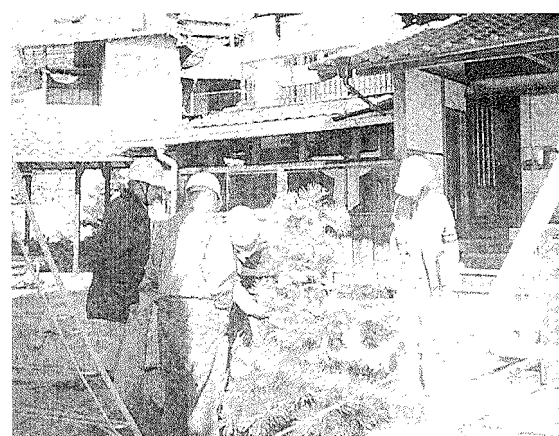
注意して見る所は、と委員さんに聞くと

一、場所が安全であるかどうか。
二、コンクリートのふたや給水管のふたが出ている所はないか。一つまずくおそれがあるので

三、水槽に入るのに梯子を使っているか。

四、不衛生な所はないか。

次に訪ねたのは秋月の大行寺の庭木の剪定現場。



これから大人二かかえもありそうなカイズカイブキの剪定にかかる方が話してくれます。

「この木は、直径10センチほどの枝でも時には根元から裂けることがあります、十分な注意が必要です」

私達が訪ねたところで休憩。お寺の大奥さんが

「岡本さんがお茶(カリガネ)が好きなのでいれました」

とお茶をふるまってくれました。香りがよく、とても美味。何人もおかわりをしました。

「シルバーで箸を三〇〇本ほど作ってもらって、とても重宝しています」

この寺の本堂は新久さんのお父さんが建てられたとのこと。

「よい道具でないとい無理をするので、道具が適正かどうかを確かめるのが第一です」

とは委員さんの話でした。

眼鏡をかけて サンダーをかける

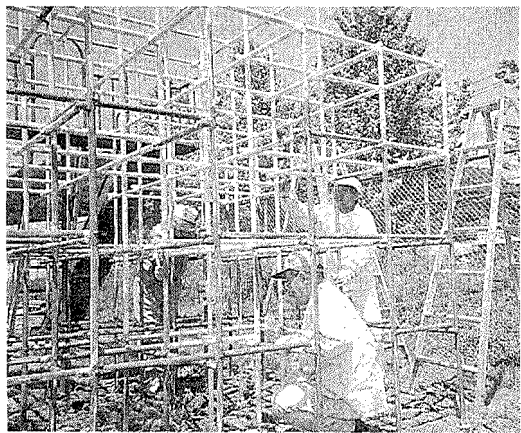
五月十一日、大原の農村公園の遊具のペンキ塗りの現場を訪ねました。

訪ねた時刻は十一時すぎ、一組は遊具のペンキ塗り、一組はサッカーゴールのサビ落しの最中。

最初にジャングルジムの塗装現場を訪ねました。

「最初にサビ止めの赤を塗り、その上に青。滑り台だと二回ですむが、ジャングルジムは青の上にもう一色青を塗ります。そうしないと、下の赤が浮き出るので」

「ジャングルジムは塗っていく手順を考えないと。下手をするとペンキが作業着にコッポリついてしまう。頭を使いますよ。また、塗り残しがないかと上下左右から確かめる。なかなか手間がかかります」



われら町を

話しながらもペンキを塗る手は止まりません。

サッカーゴールのサビ落としには二人でかかっていました。

話を聞こうと写真を撮って近寄ると、エンジン止めて話してくれました。

「雨ざらしだから仕方ないが、それにしても、よくさびたものです。作業はまず、ゴールの支えのわきの草をていねいにとります。それから発電機を



動かしてサビ落とし。サンダーが飛ばないようにしっかりと持っていないと危い。また、サンダーのワイヤーが干切れて目を傷めることがあるので必ず眼鏡をかけます」

「サンダーはシルバ－にあります。作業をするのに必要な道具はシルバ－になければ。道具がよければ仕事も楽で、はかどります」

「先週の金曜日からこの仕事。宮ノ原隣保館前の遊具を終えてこちらに来ました」

塗装の現場にもどると、「塗りあげたら「やった」という気になります。子どもも喜びますし」吹く風が心地よく感じられました。

紙オムツを配って

五月十八日、紙オムツを配る仕事があると聞き、午後一時前、文化センターのヘルパーさんの控室に行きました。

仕事は車の運転。

「今日は取材に来ました」

と言うと、花野さんが

「写真を撮って」

「わあ、もっと早く言ってもらえれば。きれいにしておいたのに」

とはヘルパーさんの声。

今日は切串から江関方面に約四十軒配ること。紙オムツの配布は年四回、五月、八月、十一月、一月。最初は森藤医院。文化センターを出る時は小降りだった雨が、小用に来ると本降り。バイクの私は、あわててカップを着用。

森藤医院では五人の患者さんに配ります。紙オムツのバックを持って二階まで上がります。二人では持ちきれないので私も手伝いました。

ヘルパーさんが病室のドアをノックし、

「紙オムツを届けにきました」

と言ってドアをあけ、オムツを渡し

ながら容態をたずね、

「早く元気になってくださいね」

と挨拶して部屋を出てきます。「紙オムツで便利になったけど、配るのが大変だね」とは花野さんのひとり言。

病院を出る頃には雨も小降り。このあと三軒、民家に届けるのに同行。三軒ともに届ける本人は不在。一軒は留守で、ヘルパーさんは玄関前の濡れない所に紙オムツのバックを置き、封筒に入った領収書を郵便受けに入れます。そして、

「あとで出張所に届けてもらうので」と説明してくれました。

一軒は当人が不在で、その方の夫君が出られ、

「看病は姉と交替でしていて、今は姉の家に行っています。紙オムツ、わざわざ家まで届けてくださるので



助かっています」

と話されます。

ヘルパーさんが届けている間、花野さんは車の方向転換。

「これから江関へまわります」

そこで別れ、私は帰りました。

職域座談会

— 一般作業班長の部 —

「毎年お願いします」と言われるのが嬉しい

五月二十一日、午後四時半から一般作業班長さんたちによる職域座談会がもたれました。

出席は山佐 勇、新久朝夫、樽本将仁、西野文三、樫野昭人、西村明治、鍵本 伍、吉田正一、平崎睦也の八氏。事務局から山佐理事長、風呂井事務局長、事務局員。司会は風呂井、記録は下谷。

仕事をしていて 嬉しかったことは

司会 今日はご苦労さまです。一般作業は四月以降昨年比べて仕事量が多く、発注が多い。これは皆さんの日常の努力の結果だと思っています。そこで、話のはじめとして、一般作業に従事していて「よかった」と思ったことを出してください。これは一つの例ですが、町外の方から家とか墓地の清掃・整理を頼まれた時には、作業前と作業後に写真を撮り、それを送っています。評判がいい。

樽本 昨日、岡本組の社長さん宅に行ったら、「来年もまたお願いします」と言われました。また、切串の上迫さん宅の田の草刈りでは「これ

から毎年お願いします」、剪定の場合も「ずっとやってください」とよく言われます。嬉しいですね。

吉田 センターの会員になって、元氣になったのがよかった。

鍵本 年寄は親切にしてあげると、とても喜ぶ。私は人材センターに入って三年、一般作業に従事しています。草刈りのあと、前とは見違えるほどきれいになったのを見ると気分がすかっとします。

司会 健康になった、仲間が多くなったという喜びは皆さんが感じているようです。

西村 シルバーに入ってよかったと喜んでいきます。

樫野 西村さんが広島に通いよった頃、私は船に乗っていた。その時は物も言わなかったが、シルバーに入って話ができるようになりました。

樽本 同じ年の者から「樽よ、お前は江田島中を駆けまわっておるのう」と言われました。

作業では自分の考えも言ったら

山佐 一般作業はスポット的。年に何回も行くことがあります。そこで、私は注文主の言うことを聞き、私の考えも言って作業をしています。

そうすると「来年もまたお願いします」と言われることがあります。

司会 注文主から「あの人を」と指名されることがよくあります。

山佐 向こうの言うままではなく、自分の考えを言うのがよいと思います。

西村 私達も自分の意見も言った方がよい。

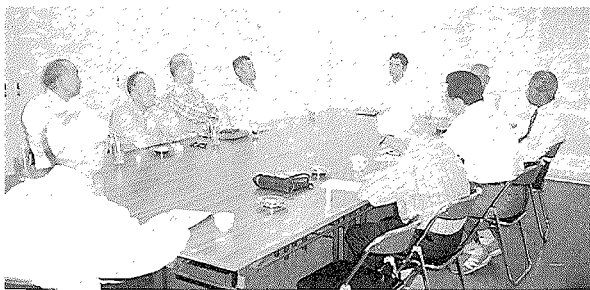
樫野 今日、五葉の松を五本伐りました。貰えばいいのですが、植えられるのには時期が悪い。峯崎さんが「もったいない」と言いながら伐つて、「さっぱりした」と言っていました。

司会 仕事をしながら辛いと思ったことがありますか。

樫野 南天と柿の木を伐りました。甘柿のとてもいい木です。ご主人は「年をとって体が不自由になり、柿がなくても消費できないから」とのこと。子どもはいるのですが、遠くにいるので手伝えな

い。つらいですね。

山佐 民間から草刈りを頼まれたら、草を刈ったあとで庭や下水路等もきれいに思



っています。そうしないと発注者に喜んでももらえないから。

発注者に対する注文は

司会 発注者に対する要望は。

西村 公園の立木の間の草をとる時には園芸のわかる町の職員がついて、いろいろと指示してもらえたらと思います。いまのところ、作業をするごとに公園の景観がだんだん悪くなるような気がするのですが、

司会 園芸の専門家を町は雇うわけにはいかないでしょう。だから、シルバーまかせにしているところがありますが、刈り込みは時期を考えねばなりません。上村の桟橋のまわりの植え込みに今年から水やるようになりました。

西村 水をやったら草が生えるよ。

樽本 草刈りの場合、境界がはっきりしない時は本当に困ります。

司会 作業前に発注者立ち合いを求め、境界を教えてもらったらい。作業前に必要なことを確認すべきですね。いまだに「庭の木をシルバーが伐った」と言われています。

鍵本 作業内容を確認しておくことは必要ですね。発注者も言うてくれればいいのですが。江能広域の仕事で知らないで他人の畑の草を刈って、ひどくおこられたことがあります。

樽本 剪定に行った時、木が大きくなったので小さくしてくれと言われて伐ったら、「こんなに伐られたら風が当たる」と苦情を言われたこと

があります。木を小さくする時は、言われたことをもう一度確認することが必要ですね。

平崎 これから草刈りの仕事の他に芋掘りを頼まれることが出てきます。草刈りに来たのにと、掘ってあげますが。

これからは農家からの注文がふえるのではないかと

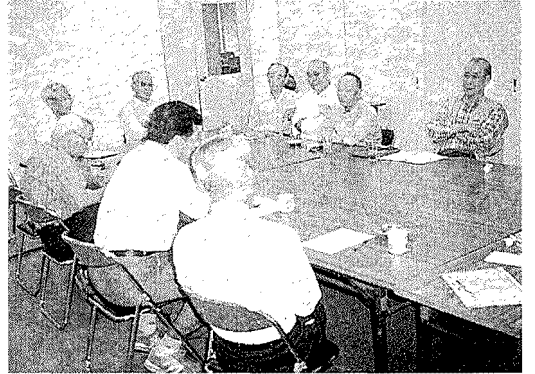
山佐 昨年の暮れ、小用にネーブルをもぎに行った。条件は休憩なし。畑は斜めで作業はきつかった。全部済まして帰ろうとしたら酒を二本くれました。

司会 三高からまた菊の仕事が来るのではないかと思う。でも、常雇いの人とシルバーとは仕事量は違うしても違います。

鍵本 今年から農家の仕事がふえるのではないかと。

司会 昨年はミカンが裏作で値がよかったので仕事が来たが、今年はどうですか。小用の仕事は小跡さんの所話を聞いて依頼されたと聞いています。

鍵本 今年「青年の家」へ行った



が、あそここの草刈の仕事をもったのは、大きかった。

理事長 青年の家の職員が削減となり、今まで職員がやっていた分、シルバーにまわってきたと聞いています。

司会 椰子とフェニックスをきれいにしてこれという話があるのではないかと思っています。

樽本 別府では鋸で伐っていました。

樫野 作業車があれば楽だけです。

犬の糞の始末は 飼い主が始末して

司会 中央公園の仕事が新しくはいりました。

平崎 鷺部と江南の間の道ばたの草刈りに行ったら、あそこは犬の糞もぐれだった。

西村 あそこで犬の用をたさせているのでは、

司会 江田島公園のプールのまわりは糞もぐれ。何とかしてくれ」と町役場に言っているのですが、これは飼いの主のモラルの問題、シルバーの名前を出していいから町民に注意を喚起してほしいと頼んでいます。

樽本 大須の農作業の手伝いとか漁業組合からの仕事は…。

司会 朝が早いですがからね。でも、来るかもしれません。

女性会員がホームヘルプの仕事 に手をつけてもらえたら

司会 女性会員が家事ヘルプの仕事に手をつけてもらえたらよいなと思っています。

鍵本 一〇〇人も女性会員がおるんじゃないけん。女性会員は今、どんな仕事をしているんですか。

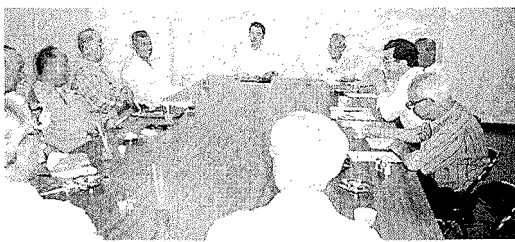
司会 ヤクルトの配布をしています。地域の女性会とシルバーの両方でやっています。女性会には、配達の中で事故にあった時に、今のままで保障がない。だから、シルバーに入るように話しています。

鍵本 ヤクルトを配るのは、老人の安否を確かめるのが主でしょう。

司会 とところで、旧くからの会員と新加入の会員との意識の差を感じられたことがありますか。

山佐 私は約十年、最初はボランティア精神でスタートしました。ところが、会員が増えるにつれ、その意識が薄れて来ているのではないかと思うことがありますが。

司会 新しい会員には年金だけでは今までの生活が維持できないので、配分金を頼っているのではないかと思う時があります



ようこそ新しい仲間みなさん

一月から加入された方の紹介です。

八木	信	寿	部	松	場	真	佐	(切	串)
吉元	キ	子	(津久茂)	平	沖	美	恵	(鷺	部)
岡本	一	之	(小用)	桐	野	昌	子	(小	用)
井川	光	子	(切串)	古	本	知	枝	(切	串)
平本	イ	子	(切串)	宇	根	宗	彦	(小	用)
中村	博	政	(中央)	古	賀		博	(鷺	部)

が。

理事長 それはその人その人の考え方。それでよしとしなければ。ただ、新しく人会される方には、シルバーの仕事は定職ではない。不規則な仕事、ボランティアの精神でやってくれと話しています。

司会 今日はお疲れのところ、いろいろと有益な意見を出していただき、ありがとうございます。これから元気で、仲良く、皆さんに喜ばれる仕事をしていきましょう。ご苦労さまでした。

保健婦さん
からの
アドバイス

高齢者の健康管理シリーズIX 生活習慣病予防のための基礎知識

Ⅱ 高血圧と薬Ⅱ

高血圧の大部分は、原因がよく分かっている本態性高血圧と呼ばれるものです。これといった症状がないのが特徴で、相当血圧が高くなっても、ふらつきも頭痛も感じないのが普通です。

しかし、放置すると動脈硬化が速く進み、脳卒中を起こしやすくなります。その危険度は、正常の人の五倍以上だといわれています。根本的に治すことはできませんが、血圧を下げる薬を上手に使用すれば、健康な人と同じ状態を続けることができます。

よく見られるのは、薬を飲んだり飲まなかったりするために、血圧が変動する状態です。薬を続けて飲むと血圧が低くなってきたので飲むのをやめた、という声もよく聞かれます。

大切なことは、主治医の指示に従って薬を飲み、飲まなかった時にはその旨をきちんと主治医に伝えることです。

また、最も基本的なことは、薬よりも肥満の解消・塩分摂取を減らすこと・運動不足の解消などです。これらは、生活習慣を変える必要があるのに難しいことですが、薬と同じくらいの効果があります。

薬を飲んでいない人でも、もし生活習慣を改善することができ、長期間

正常血圧を保てるようになれば、薬を減らしたり、中止できる可能性もあります。

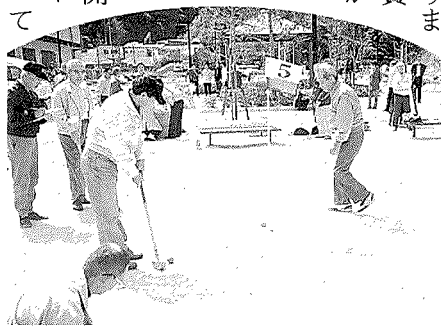
宇根川さんがホール・イン・ワン

四月八日、シルバ－恒例の観桜会が、新しく出来た中央公園（健康公園）でもたれました。

会の最初はランドゴルフ。

七十名くらいの会員を前に、「今日は一日、昨日とうって変わった上天気。私達がこのグラウンドの最初の使用者です。勝敗にこだわらず、楽しくやりましょう」と山佐理事長の開会挨拶。次いで審判団からのルールの説明。「チームは六人編成で八チーム。チームごとに順番にコースをまわります。入賞は一位から三位、それと中間賞」

早速、チームが出来、ゲーム開始。ホールを狙って



しかし、薬を中止できても高血圧の素因そのもとは変わっていないわけですから、血圧の経過はやはり、一生主治医のもとで見てもらいましょう。

（岡山県健康福祉センターの「おたじじ」から一部転載 著者 檜脇千里氏）

球を打ちます。でも、はじめてなので要領がわからず、打つの力を入れすぎて「キャー、とびすぎた」という女性会員の歓声や、土地の高低のため球が見当はずれの方角に転がり「あさっての方に行った」という男性会員の声など、にぎやかにゲームは進みます。宇根川さんがホール・イン・ワンを決めました。とたん「ワー、やった!」と歓声があがります。

ゲームは一時間で終了。皆が席に着いた所で成績発表。一位から三位までの入賞者に賞品が渡され、その後、中間賞の発表。

いよいよ桜の花見を兼ねた懇親会。山佐理事長、平木町長、浜野町議会議長の挨拶のあと小松さんの音頭で乾盃。酒をくみ交わしながらゲームのこと、日常の作業のことなど、話はずみです。カラオケも始まり、桜見物はどこへやら。大いに盛りあがった会でした。

ご寄付ありがとうございました

就業活動に大切に活用させていただきます。

（敬称略）

- ◎動力草刈機 1台 濱本 達司(中央)
- ◎カメラ 1個 稲生 貞仁(小用)
- ◎マルノコ 1台 久保河内正秋(小用)
- ◎チェーンソー 1台 新本 武久(小用)
- ◎電動仕上げカンナ 1台 風呂井憲三(広島市)
- ◎軽トラック(中古車) 1台

事務局だより

未就業会員のみなさんへ

平成十年度の就業率は七七・二％で、この年度中に就業した人は一八三名となつて五十数名の方が一度も就業されていません。就業を希望されて入会された会員のみなさんが希望職種に見合った仕事がないとか、仕事の依頼があつても自分に合わないで断つたなどの理由で就業されていない方があります。

センターでは、加入された会員さんが一人でも多く就業されることを望んでいますので、是非、事務局に相談してください。

職員の異動

●採用 嘱託職員 中村 博政

（業務担当）（四月一日付）

●退職 嘱託職員 角川 伍助

（業務担当）（三月三十一日付）

長い間お世話になりました。